

■農工研ニュース 関連資料
(作成：森山英樹)



このパイプハウスは防風林の端部に位置したため、画面右側からきた縮流（障害物を避けて狭い範囲に集まった風）によってパイプハウス側面が押し倒されました。



腐食しやすいアーチパイプ地際に力が集中すると、アーチパイプが破断します。骨組の経年劣化に注意が必要です。錆が生じる前に、ペイント補修するのも効果的です。



建築物や地形条件によって、風の流れは乱されます。このパイプハウスは風上にある建築物周囲の気流が吹き下ろされ、上から押しつぶされたと考えられます。



画面左から吹いた風によってパイプハウスの風下側に負圧（引っ張る力）が生じました。その結果、アーチパイプが地面から引き抜かれて、右隣のパイプハウスの屋根に刺さってしまいました。基礎のないパイプハウスは、浮き上がる力にも注意が必要です。